

てんげん新聞

14.11.No209
発行所 京都日映
0683-88-5292

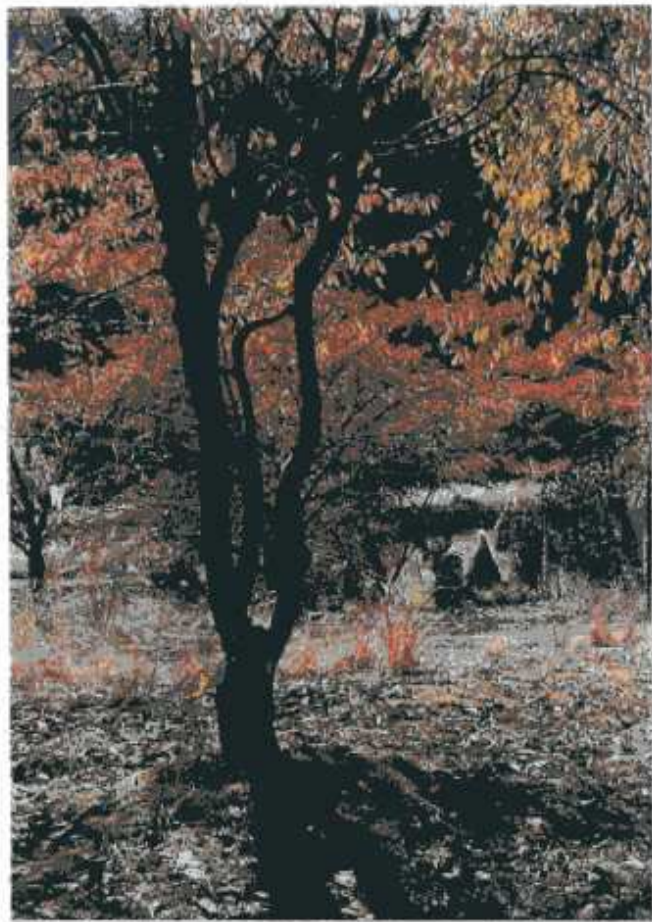


右へ右へ国はびびる排外思想

「帰れ」「殺せ」の言まで聞かぬ

金 忠庵

いつの間にか、当ウビタキが近くで余り響かぬ
まじきを出して季節節になりまして。
まだ雪は見えてませぬが、霜は何回も降りま
した。朝になると草葉が真白。
人の息も白人見えたりして来ました。
先日、剣山は氷を見てうんざりしてみまし
たが、美味いのですよ。冬場、歩いて氷を
見つけると、口にします。掬いおのつども
あります。ただ、やうゆり寒くすると、身体
が小さく、まるくなくて、身持は、コタツの中。



ラジオを聞きながらラフスピーの時間が多
なつてきます。
どうも、イヤなニュースを聞くことも少
くありません。
今は、少びくばつたのが、あるいは表面に出
てこないのか、学校でのいじめのニュースが少
い気がします。毎日の様に「死ね」とか「ブ
ンデ」とか言えは、いけませんという学校側、大
人の側からの当然の事もありません。
所が、最近では、衝中で「殺せ」と叫ん
でデモをしてくるグループがあるらしい。
警察に守られ、政治家からは「言論の自由
があるからと保護される様子。
ほんとにも恐ろしい社会だなあ、日本は。
人を殺せ」は、この世界の世界では、言葉は
いかに、大人の世界では、唇を口に出る
2、どうしてこの世に教えるんだらう。
「言論の自由」には、他人を殺せという言
その中にはいる。社会や国があるの
この中か。全体主義の国でも、人
いのでないでしょうか。



いよいよ全体主義の国では、言論の
自由がないのだ。……なんでもか
てきそうだが……。
そんなイヤなニュースも耳にはい
ますが、秋は、そうで、なくとも寂
季節だ。
ちよつとこの事で、涙がこぼれます。
本を讀んでいても、ラジオから
いかに、心にしみぬる歌を聞い
年令と季節のせいでしょうか。
この国も、徳島の阿波踊りで、徳島市
内、有名連の選抜チームがある人
人ど踊りませぬ。
舞のりに踊り込んどんに涙があ
れ、こぼれませぬ。どうして、こ
つか。
悲しくもよいのに、次、次と。